

漢検準1級試験の出題範囲は膨大なため、対策が困難です。過去の出題回数が多い漢字ベスト40をまとめたので、頻出問題と解答をセットにして覚えておきましょう。

表の見方

1 頻出漢字

阿 過去20年の出題回数

27回 チェックボックス
覚えた問題はチェックをつけよう。

出題形式
出題される試験分野です。アイコンの見方は表の左下にあります。

頻出問題
試験で実際に出題された問題です。右から頻出度順に並べています。

問題の答え

阿 曲学アセイ→阿世
阿堵物→あどぶつ
アマダ→阿弥陀

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
忽	恰	劫	欣	坦	膏	嘗	厭	夙	悉	魁	臥	殆	阿
18回	18回	18回	18回	18回	19回	19回	19回	19回	20回	20回	22回	25回	27回
類文 突如→忽然 文 忽ち→たちまち 故 忽せ→ゆるがせ	類文 恰も→あたかも 文 恰幅→かっぶく 書 アタカも→恰も	四 読 書 オックウ→億劫 四 読 書 劫火→(くわ)か(くわ)か 四 読 書 エイゴウ回帰→永劫	四 読 書 ゴング浄土→欣求 対 読 欣求→ごんぐ 対 読 悲傷→欣悦	四 読 虚心タンカイ→坦懐 対 読 險阻→平坦 熱 坦夷→たんい	四 読 内股コウヤク→膏藥 書 膏沃→こうよく 四 読 ナンコウ→軟膏	四 文 大嘗会→だいじょうえ 四 文 嘗て→かつて 四 文 臥新シヨウタン→嘗胆	文 厭悪→えんお 文 厭悪→えんお 文 厭悪→えんお	文 夙に→つとに 文 夙に→つとに 文 夙成→しゅくせい	文 悉く→ことごとく 文 悉く→ことごとく 文 悉く→ことごとく	四 読 魁梧→かいこ 四 読 容貌カライ→魁偉 書 シユカイ→首魁	四 行住ザガ→坐臥 熟 臥す→ふす 故 クタビれる→草臥れる	文 殆ど→ほとんど 文 殆うい→あやうい 文 ホトンど→殆ど	四 曲学アセイ→阿世 文 阿堵物→あどぶつ 文 アミダ→阿弥陀

32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15
繡	狐	撞	牽	僻	蕩	晦	纏	頗	尤	些	吞	烏	恕	雀	歪	蒼	爾
16回	16回	16回	16回	17回	17回	17回	17回	17回	17回	17回	17回	17回	17回	17回	17回	18回	18回
四 綾羅キンシュウ→錦繡 書 シシユウ→刺繡 故 シユウ→繡	四 文 コリ妖怪→狐狸 故 トウコ→董狐 文 キツネ→狐	四 自家トウチャク→撞着 四 故 シュモク→撞木 類 矛盾→撞着(著)	四 ケンキヨウ附会→牽強 文 牽連→けんれん 熱 牽制→けんせい	書 僻事→ひがごと 故 ヒガメ→僻目	四 蓄積→たまり 文 ヲウトウ→遊蕩 書 ホウトウ→放蕩	四 晦蔵→かいぞう 文 カイサク→晦朔 対 平明→ひび	四 情緒テンメン→纏綿 文 纏う→まとう	文 頗る→すこぶる 文 公平→へん 対 頗る→すこぶる	文 尤も→もつとも 文 尤める→とがめる	類 些末→さまつ 書 些小→些細	四 蚕食ゲイドン→鯨吞 故 ドンシユウ→吞舟 書 吞吐→どんと	四 白兔セキウ→赤烏 故 ウロ→烏鸛 書 烏んぞ→いずくんぞ	類 容赦→寛恕 書 諒恕→りょうじょ 書 カンジョ→寛恕	四 欣喜ンヤク→雀躍 故 ジャクラ→雀羅 書 クジャク→孔雀	四 歪曲→わいきよく 対 匡正→歪曲 書 イビツ→歪	四 暮色ソウゼン→蒼然 文 ソウハク→蒼白 類 人民→蒼生	文 爾汝→じじょ 故 ジジヨ→爾汝

字形のまちがい 儘 vs 菲

読みまちがい 萩 vs 萩

書きまちがい 情 vs 情

書きまちがい 紛 vs 扮

ましがい多発
対比して覚えれば忘れない!

儘は、棒が一本多い、一本少ないということがないように気を付ける。
菲の下の菲の横棒の数が一本足りないことがないように注意する。
儘の右上の丷を丷としてはいけな。逆に訓は、丷ではなく丷。

萩は、イネ科の植物で訓読みは「はぎ」。
萩は、マメ科の植物で訓読みは「はぎ」。
萩「はぎ」の下の字は「秋」。秋の七草のつである萩。または秋のお彼岸に食べるお萩もち。と覚えれば混同しにくい。

情は、丸みを帯びた平べったい形という字義があり、情円「だえん」などが出題されている。
情は準2級漢字で、なまける・おこたるという字義がある。
情の部首の「忄(けしんべん)」に着目して、心をイメージすれば混同しにくい。

扮は、装う・飾るという字義がある。扮装「ふんそう」、扮する「ふんする」などが出題されている。
紛は、もつれる・まぎれるという字義がある。紛擾「ふんじょう」などが出題されている。
紛の糸に着目して、糸のもつれるようなイメージと結びつければ混同しにくい。